

【ビデオ研修】田中光夫氏

鑑賞ではなく、何かに気づいていくことが大切。
気づいたことを積極的に発言、質問してもらい進めていきたい。

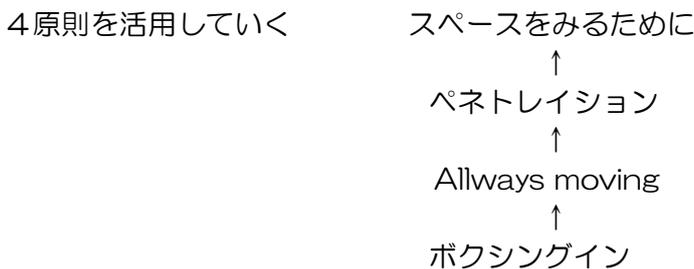
- 触っていること自体はいけないが… とるかとらないかは、一貫性の問題として関わってくる
○吹く吹かない（一試合の中で、吹くことに責任をもっていくことが重要）
○吹けなかった
☆すべてをとるのではなく、1play 1play をみていく
一つとるのだったら、すべてをとっていく

キーになる選手、ポイントになる選手
だれが、なにをやりそうなのか
マークしておかなければならない選手

← 早く感じていくことも大切

- 『手』をどう裁くか・・・判断するのは審判である
- センターのターンの癖を見極めておく →どっちにいたらよいかを考えて位置取りをする
- 細かいペネトレーションが大事（リードも）→体を動かしておき判定をする（プレイの流れ）
- 見ていてわかりにくい笛は×。たいていまちがっていることが多い
- 何も無いことを不安に思わなくてよい
- 位置は思い切りとる（行くなら行く、行かないなら行かない）
- 手の引っかかり、足の引っかかり →困っているものを取り上げていく
- どれだけゲームで感じ取れるかが大切
- オフボールでプレイヤーが何をしたいのか等を考えながら動く
- どれだけ発想があるか、もてるか →動きにつながる、位置取り
- 自分だけにしかわからない →自己満足
- だれがみてもわかるもの ←必ず取り上げる

☆ゲーム中にいろいろ感じてほしい
『位置はここでいいのか？どこでみたいのか？』
困ってほしい（すべてに）



☆準備がどれだけもてるか→準備をすると、体・足が止まらずにいられる
↑
対応ができる。遅れずに適応
↑
いい判断ができる ⇒ 『いい判定』につながる
(いい判断ができないと、まちがいにつながる)

☆とらえるためには、目だけでなく体を動かす
☆正しい判定のため…『マニュアル・ルール』活用、適用する